



広島市立宇品小学校 平成 24 年 10 月号

学校だより No.6



広島市立宇品小学校 校長 前重 幸美

宇品小学校 学校教育目標

心豊かにたくましく生きる力を育成する

やさしい子ども (徳) たくましい子ども (体) よく考える子ども (知)

<ごみが 30 秒以内になくなる>

「東京ディズニーランド」の客は約 9 割がリピーターだということで有名です。「9 割がリピーター」ということは、また行きたくなる魅力のある場所なのでしょう。

「ディズニーランドの秘密」という記事の中に、「清掃」に関する記述がありました。それによると「夢の国にごみが落ちてはいけけない」という理由から、ディズニーランドには 600 人もの清掃スタッフがいて 300 人交代で清掃をしているということです。「東京ディズニーランド」では、客を幸せな気持ちにするためにこれほどまでに「清掃」に力を入れています。

「ディズニーはまず『おそうじ』を考えた」(我孫子薫著・小学館出版)によると、通路は 15 分おき、トイレは 45 分おきに巡回して清掃し、清潔さの基準は「そこで赤ちゃんがハイハイできるレベル」にするということです。

「ごみが 30 秒以内になくなる」という記事もあります。「夢の国にごみが落ちてはいけけない」という発想を着実に具現化していると言えます。

本校でも、整った学習環境の中で児童が落ち着いて過ごすことができるように、清掃活動を重視しています。「1 時 30 分のチャイムが鳴った時には担当場所で用具を持って清掃開始していること」を目標に取り組んでいます。

(清掃担当 清水 奈々子)



体育館前そうじ (6 年生)

<本年度の 5 つの重点目標>

先月「うじなっ子 No. 1」で伝えたり、6 月の学校朝会で校長から児童に話したりしたように、本年度は 5 つの重点目標を決め取り組んでいます。

その中のひとつに「時間いっぱい清掃をする」があります。上の<ごみが 30 秒以内になくなる>にあるように、学習環境を児童自身の手で整えることができるように指導しているところです。

学力の基盤づくりに学習環境の整備が不可欠です。児童とともに清掃活動をとおして、環境整備に努めていきたいと思えます。

(学校評価委員長 片岡 美佐子)

本年度の重点目標

- よい言葉づかいをする
- チャイムの合図を守る
- 時間いっぱい清掃をする
- 給食を残さず食べる
- 自分の力でよく考える

<図書館アシスタント>

「図書館アシスタント」として、田村和子が着任しました。9月から12月21日（金）まで、毎日勤務します。「図書館アシスタント」は、図書室の運営業務の補助（蔵書情報のコンピュータ入力・管理等）、読書活動、調べ学習等の指導の補助などの業務を行います。図書委員会児童や図書ボランティア等への支援・助言にもあたります。

<学校 ICT 支援員>

「学校ICT支援員」として、目代有梨沙が着任しました。9月から3月末まで、毎週火曜日に勤務します。「学校ICT支援員」は、児童の情報活用能力を育成するとともに、教員のICT活用能力の向上を図り、学校教育の質の向上と校務の効率化を推進するため、授業や校務処理、ICT研修などにおいて、教員にその必要に応じたきめ細かな支援を行います。

<平成24年度 クラブ活動>

本校では4年生以上の児童が、次の19のクラブに分かれて活動しています。クラブ活動は教師の適切な指導の下、「共通の興味・関心を追求するために、目標をもち、クラブの一員としてよりよいクラブづくりに寄与するための役割や責任を果たし、自己をよりよく生かして活動する」ことを目標としています。
(クラブ担当 円並地 利江)

手芸、まんが、百人一首、ちぎり絵、イラスト、コンピュータ、絵手紙、読書、パズル、折り紙・切り絵、昔の遊び、リコーダー、将棋、卓球、バドミントン、ポートボール、ソフトボール、フットベースボール、陸上

<全国学力・学習状況調査（第6学年）>

9月13日（木）・14日（金）の学級懇談会で説明した、平成24年9月13日付『全国学力・学習状況調査』の結果について（お知らせ）を再掲します。

【全国学力・学習状況調査結果（4月17日実施）】

国語科（平均通過率）					
A問題			B問題		
国	県	本校	国	県	本校
81.6%	83.6%	83.4%	55.6%	58.1%	58.0%

理科（平均通過率）		
国	県	本校
60.9%	62.9%	63.6%

算数科（平均通過率）					
A問題			B問題		
国	県	本校	国	県	本校
73.3%	75.4%	72.9%	58.9%	60.5%	60.9%

<「基礎・基本」定着状況調査（第5学年）>

「基礎・基本定着状況調査」の結果についての詳しい説明は、後日配付します。

【基礎・基本定着状況調査（6月12日実施）】

国語科（平均通過率）			算数科（平均通過率）		
県	市	本校	県	市	本校
75.8%	74.1%	79.2%	75.0%	72.9%	78.6%

<校内全体研修会—研究授業>

10月16日(火)に、1年6組で国語科の研究授業を行う予定です。

学校における教育活動の中心は言うまでもなく「授業」です。子ども達に「質の高い授業」を提供するため、本校では互いの授業を観察し合い、切磋琢磨する中で「質の高い授業」を目指して研修に努めています。「質の高い授業」とは「子どもに力をつける授業」です。

8月下旬に、広島市教育委員会指導第一課の岡田由佳指導主事、片上宗二安田女子大学教授、李木明徳文教女子大学教授をお招きして、「国語科の教材分析」、「児童を引き付ける発問の仕方」、「子どもの理解と支援」などの指導を受けました。

研究を積み重ね、授業力・指導力を向上させることは児童の学力向上に繋がります。「質の高い授業」は、子どもたちを飽きさせることなく、学習意欲を向上させます。「教育の専門家・プロの教師」として、今後も「質の高い授業づくり」を目指し、研修の充実を図っていききたいと思います。

(研修部長 松田 経子)

<欠席の連絡、遅刻・早退>

「学校だより4月号」でお知らせしたように、本校では「7:50～8:20の間」に登校するよう指導しています。児童の遅刻・欠席は、「生活ノート」にその理由を書いて連絡袋に入れ、できるだけ兄弟姉妹や近所の友達を通して学級担任へ届けるようにしてください。無理な場合は、8時20分までに学校(電話251-8304)へ連絡してください。

9月初旬の午前9時半頃、保護者から、登校時間帯ではないときに一人で歩いている児童を見かけ「児童が学校とは違う方向に一人で歩いている」という電話がありました。職員がかけつけ付近を探しました。一人で病院に行った後、遅れて登校したことが分かり安心しましたが、遅刻・早退の場合は安全確保のため保護者同伴でお願いします。

<帰宅時刻>

下校後の安全のため、本校では帰宅時刻を「前期は午後6時、後期は午後5時」としています。

9月下旬の午後5時半頃、低学年保護者から「子どもがまだ学校から家に帰っていない」と言う電話が学校にありました。学校では定刻に下校させていたので、職員で探したところ、友だちの家に寄って遊んでいたことが分かりました。このようなことがないよう、学校でも引き続き指導しますので、学校の帰りに寄り道をしたり友達と遊んだりすることのないよう、家庭でもしっかり指導してください。

<基準服回収引き出し>

職員室入口の多目的棚に「基準服回収引き出し」(一番下)を設けました。9月28日(金)付PTAからの「基準服について(お知らせ)」でお知らせしたように、この「引き出し」に保護者またはお子様は直接入れてください。(担当 教頭 増田 紀美)



**地震が起こったときには
身の安全を確保し、火の始末をしましょう**

南消防署水上出張所 Tel255-6616